

早稲田大学ビジネススクール

(早稲田大学大学院経営管理研究科)

2019年度一般入試/事業承継者入試/企業派遣入試 入学試験問題 (冬募集) 「小論文」

注意事項

1. この試験では、問題冊子のほかに、解答用紙1枚(白色)および下書き用紙1枚(色紙)を配付する。
2. 試験開始の指示があるまで、問題冊子を開かないこと。
3. 問題は、1ページから3ページに記載されている。試験開始の指示後、問題冊子に抜けているページがないか、解答用紙および下書き用紙が全てあるかを確認すること。
4. 解答用紙および下書き用紙は書き損じても新しいものを配付しない。
5. 小論文は全ての設問に日本語で解答すること。
6. 解答用紙の所定の欄に氏名、および受験票に記載されている受験番号を正確に記入すること。数字は読みやすいように、はっきり記入すること。
7. 解答用紙への記入にあたっては、設問番号を確認し、間違えないように気をつけること。
8. 筆記用具は黒色または青色のインクのペンまたはボールペンを使用し、解答は解答用紙の所定の欄にはっきりと書くこと。消しゴムで文字を消すことができるインクのボールペンの使用は認める。
9. 修正テープ、修正液の使用は認める。
10. 筆記用具、修正液および修正テープは貸与しない。
11. 下書き用紙(色紙)は自由に使用して構わない。
12. 試験終了後、解答用紙を回収する。問題冊子・下書き用紙は持ち帰ってよい。

早稲田大学ビジネススクール

(早稲田大学大学院経営管理研究科)

2019年度一般入試/事業承継者入試/企業派遣入試

「小論文」

以下の文章・図を参照し、問題に答えてください。

図の出典:

図1、図2、図3、図5:阿部正浩「規制を緩和しても賃金は上がらない」、玄田有史『人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか』第3章(2017年4月20日初版第1刷発行)

図4:国土交通省「バス運転者を巡る現状について」2014年04月25日

図6:後藤孝夫「バス運転者不足問題とその改善の方向性について」2018年03月02日

注)統計数値は正しく調査されているものと考えてください。

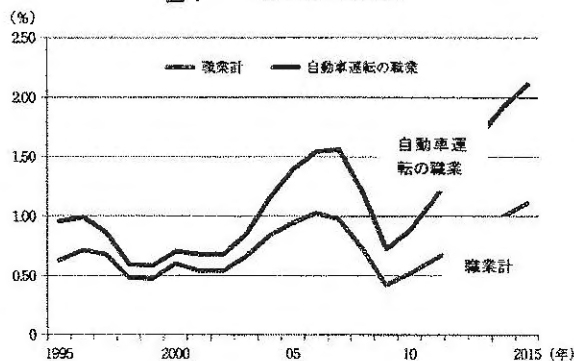
バス運転手の平均時間当たり賃金

図1からわかるように、「自動車運転」の有効求人倍率は全職業の有効求人倍率より、過去20年間常に高い状態が続きました(バス運転手だけをとりあげてもほぼ同じ傾向であることがわかっています)。このことは、「自動車運転」という職業が相対的に人手不足状況にあることを示します。(有効求人倍率=全国の公共職業安定所に申し込まれている求職者数に対する求人数の割合。)

しかし、図2に見るように、「自動車運転」のうち、バス運転手の平均時間当たり賃金は2005年以降長期間にわたって1550円前後で上下変動しています。

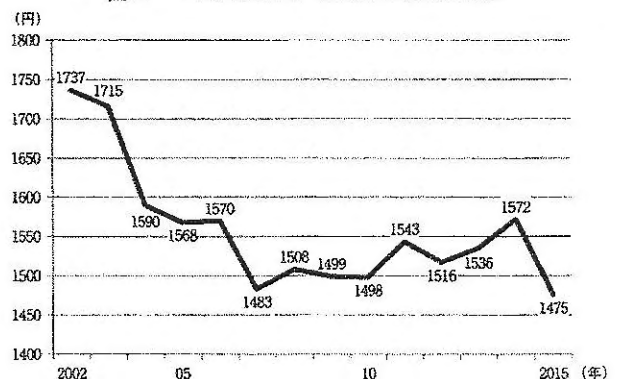
需要が供給を上回るという市場メカニズムが働くならば、求人(需要)と求職(供給)の比率が上回る期間が長く、市場全体よりその比率が高い状態がある期間が続いてきた「自動車運転」においては、平均時間当たりの賃金は上昇してもよかったです。しかし、バス運転手の労働市場(ここでは、自動車運転とほぼ同じ労働市場を形成すると考えてください)においては、「有効求人倍率が上がったのに、平均時間当たり賃金が上がらない」という、単純な「需要・供給の論理」とは異なる現象が起きています。

図1 有効求人倍率の推移



出所:厚生労働省「職業安定業務統計」

図2 バス運転手の平均時間あたり賃金の推移



出所:厚生労働省「賃金構造基本統計調査」、総務省統計局「消費者物価指数」

(注)図2の数値は、「現金給与額」/(所定内実労働時間+超過実労働時間<残業時間>)

問題 1.

図3と図4のそれぞれから読み取れる「傾向（観察事実）」と「その傾向の理由（推測）」として、どのようなものが考えられるか、傾向と理由をセットにして合計4つ抽出し（それぞれの図からいくつ抽出するかは自由です）、以下のように見やすく箇条書きで書いてください。理由は複数書いても結構です。この問題に解答する際には、本問題の他の各図との整合性を考慮してください。

(合計 500～600 字程度で解答してください)

記述例

- ①傾向<図3>：どの年度の調査でも、年齢が上昇すると基本給が上がっている。
- ①理由<図3>：経験年数による昇給制度があると推測。あるいは年功給が残存してきた可能性もある。

①傾向<図3>：・・・・・・・・

①理由<図3>：・・・・・・・・

②傾向<図3>：・・・・・・・・

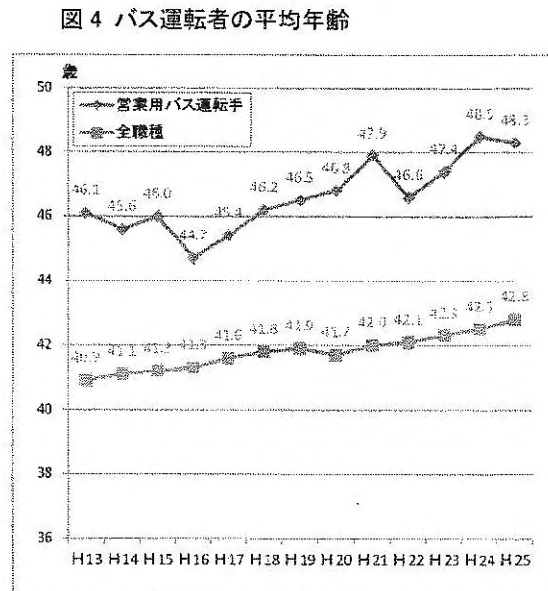
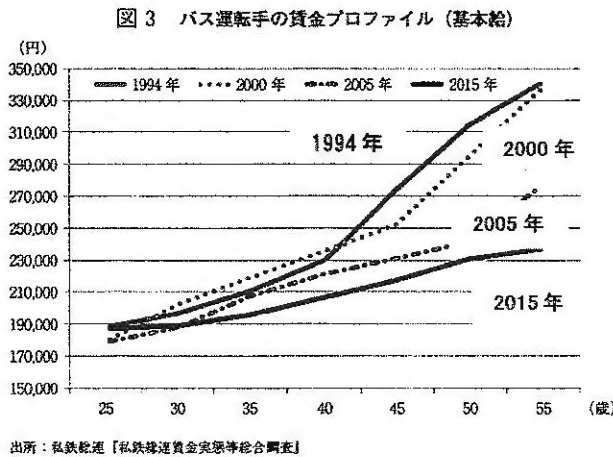
②理由<図3>：・・・・・・・・

③傾向<図4>：・・・・・・・・

③理由<図4>：・・・・・・・・

④傾向<図4>：・・・・・・・・

④理由<図4>：・・・・・・・・

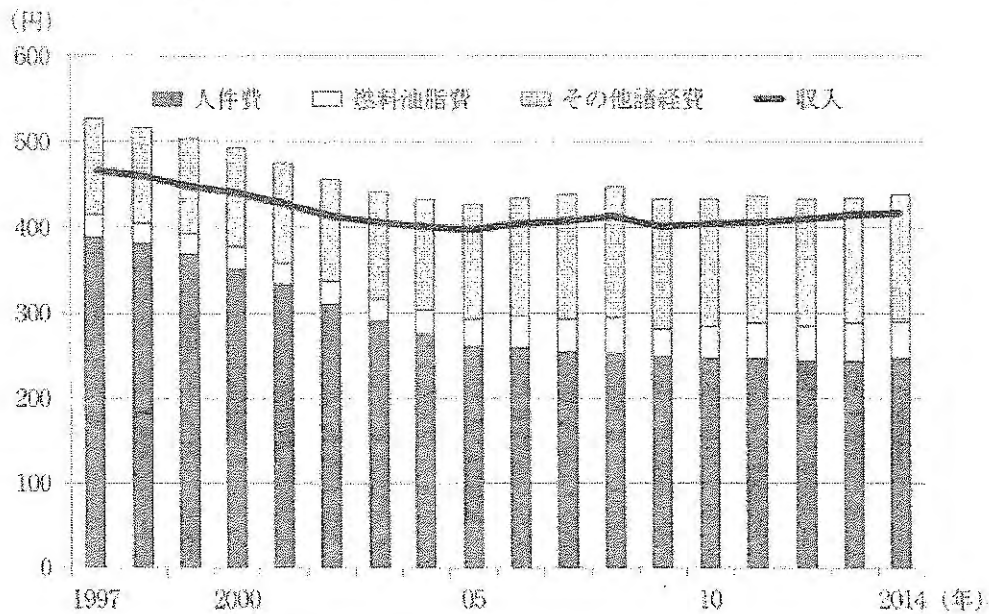


問題 2.

2005 年以降、「有効求人倍率が上がったのに、平均時間あたり賃金が上がらない理由」について、図 1～図 6 のすべてに言及して、説明するロジックを考えてください。状況について推測してもかまいませんが、推測については推測である旨を明記してください。この問題の解答は、箇条書きではなく、図番号を付記して文章にしてください(600 字～800 字程度)。

(注：路線バスと乗合バスは同じ意味です。)

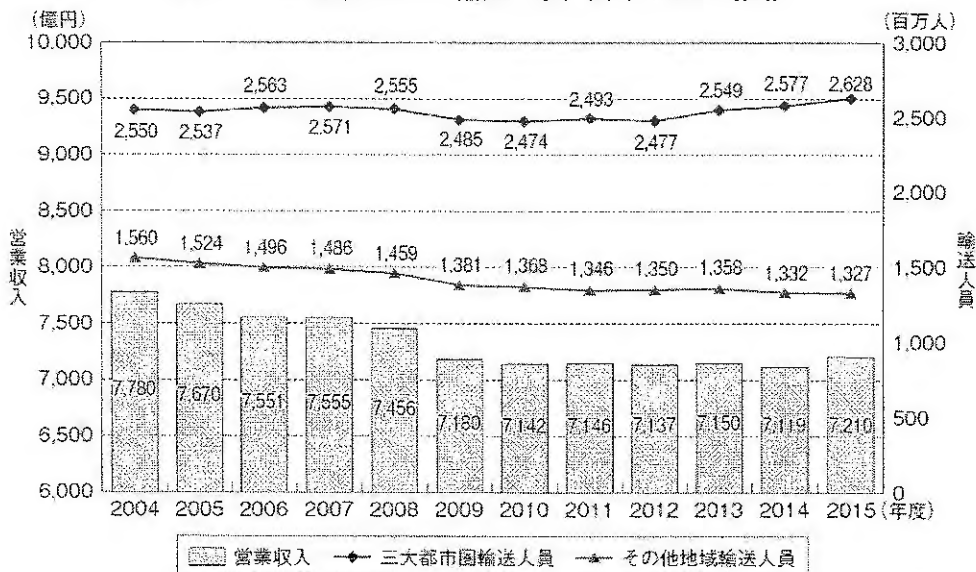
図 5 路線バスの 1km あたり収入と費用の構造



出所：国土交通省『乗合バス事業の収支状況について』

※下記に出典は明記しています。

図 6 一般路線バスの輸送人員・営業収入の推移



出典：「2017年版 交通政策白書」, p.31より抜粋

【以下、余白】

※Web公開にあたり、著作権者の要請により出典追記しております。
 国土交通省ホームページ
<http://www.mlit.go.jp/index.html>
 「平成26年4月25日 バス運転者を巡る現状について」より
<http://www.mlit.go.jp/common/001038072.pdf>
 厚生労働省ホームページ
<https://www.mhlw.go.jp/index.html>
 賃金構造基本統計調査より

